



新☆びゃくか(白花)たより

手打ちそばぐる〜び

白花

第35号：29.6.17

白花メンバーの皆さん、またホームページをご覧の皆さんこんにちは。

1か月ぶりの「新☆びゃくか(白花)たより」のアップです。



メンバーも個々お仕事されている身で忙しいと見えて、6月の例会はスケジュール調整が合わず13名という少人数となってしまいましたが、代表、副代表を始め白花指導陣もことごとく欠席だったため、新入会員を指導する段取りが大変でした。

しかも、昼食当番3人が全員欠席しちゃったので、例会を仕切るTAKAさんが出張先から諸々の手配をして何とか当日の昼食メニューにこぎつけました。TAKAさん、ご苦労様でした。

また、おがGさんも遠路留萌から駆けつけてくれましたし、しばらくご無沙汰だったえみさんとかみさんが、久しぶりに元気な姿で参加されたのでとても心強い限りでした。



先々月に体験打ちで参加されたG10さんの同僚のMさんが、前回、得心出きなかった工程を確かめたいと、再度来場されました。そういう理由であれば、普段、真正面から真摯にそば打ちに取り組むトスカさんが適任と考え指導をお願いしました。

TAKAさんとtanboさんは昼食用のそば打ち後、手の空いたところで指導に廻りました。

参加者が少なかったということもあって、tanboさんの水廻しのウンククを飽きもせず聞いてくれたり、TAKAさんの実技指導を受けたいするなど、ゆったりした時間の流れの中でも充実した時間でした。

注目すべきは新会員のTOMOさんです。

そば打ちを始める時に、今後続けていくかどうかの判断基準として、高額な「包丁」を買うか否かだと思うんですが、TOMOさんは何の躊躇もなく早速包丁を購入され、手術した肩の具合を気にしている病み上がりのMu-さんに指導を受けていましたが、今一番そば打ちに情熱を注いでいるひとりで。

TOMOさんのMy包丁による切りの様子はフェイスブックの動画でも若干観られますので是非こちらもご覧ください。

来月の例会予定日7月15日には、白花が全麺協に登録されたのを契機に新しい船出をすることと、新入会員の歓迎会、恒例となっている納涼会等を兼ねて、ススキ/で食事会を開催する予定です。



10日には恒例になっているテイサービス「ツクイ稲穂」での蕎麦打ちボランティアに行ってきました。

参加者はKAZIさん、TAKAさん、goudaさん、tanboさんの少数精鋭で手際よく持ち場をこなし、tanboさんがテモ打ちと体験打ちを担当して予定どおり終了しました。

職員のおひとりが体験打ちで熱心に指導を受けておられたので、ヒョットしたら仲間に?かも。